

令和7(2025)年11月号

学校だより 糎谷

大田区立糎谷小学校

ホームページ <https://www.ota-school.ed.jp/koujiya-es/>

せいかつしどう がつもくひょう  
★生活指導11月目標

こころゆた せいかつ  
「心豊かな生活をしよう」

ほけんしどう がつもくひょう  
★保健指導11月目標

しせい ただ  
「姿勢を正しくしよう」



## 「支え合いの中で見えた力 – 雨の運動会を振り返って」

こうちょう たむら さとし  
校長 田村 諭

10月の運動会は、朝から冷たい雨が降り続くあいにくの天候のもとでの開催となりました。前日から天気予報を何度も確認し、予備日との兼ね合い、校庭の状態、こどもたちの期待などを総合して判断しましたが、容易な決断ではありませんでした。

結果として、雨の中での実施となり、多くの保護者の皆様から賛否両方の声をいただきました。どのご意見にも、こどもたちを想う真摯な気持ちが込められており、学校として一つひとつを大切に受け止めています。

### ① こどもたちの姿 – 困難の中で見せたたくましさと絆

最も多く寄せられたのは、こどもたちへの温かい賞賛の言葉でした。「寒さに負けず、最後まで頑張っていた」「びしょ濡れでも笑顔で応援していた」「仲間を励ます声が印象的だった」など、保護者の皆様は雨に濡れながらも、わが子の姿に確かな成長を感じ取ってくださいました。

特に、上級生が下級生の手を引いて整列を助けたり、トイレに付き添ったりする場面には「優しさと責任感を感じた」という声が多くありました。逆に、「寒さで震えるこどもを見て胸が痛んだ」「体調への配慮をもう少し」といったご意見も寄せられました。どちらの声にも、こどもたちを大切に想う願いがにじんでいます。

厳しい環境の中で、それぞれが自分の役割を果たし、仲間を支え合う経験は、こどもたちにとって大きな学びとなりました。この運動会は、結果よりも「挑戦し抜く姿勢」そのものが輝いていた一日だったと感じています。

## ② 教職員の動き ― 現場の支えと改善への手がかり

今回のアンケートでは、教職員の動きについて多くの励ましと感謝の言葉をいただきました。「ずぶ濡れになりながら走り回っていた」「臨機応変にプログラムを入れ替えていた」「大きな声でこどもたちを導いていた」といった言葉が並び、職員一人ひとりの姿をしっかりと見てくださったことに深く感謝いたします。

一方で、「判断の遅れを感じた」「もう少し早めの避難指示があってもよかった」「学年間の連携を強化してほしい」といった率直なご指摘もいただきました。行事の成功は、事前の準備だけでなく、その場での情報共有と判断の速さにも左右されます。今後は、無線機やグループ通信の活用、学年責任者同士の連絡体制強化など、より緊密な協働体制を整えてまいります。

また、プログラム変更や安全誘導の際に走り続けた先生方に対し、「休む間もなく動いていた姿に頭が下がる」「こどもたちへの声かけが温かかった」との声が多く寄せられました。現場での支え合いと粘り強さこそ、こどもたちの背中を押す力になっていたのだと思います。

## ③ 保護者・地域の皆様 ― 温かな応援と共に育つ学校

悪天候の中でも、多くの保護者・地域の方々が傘を差し合いながら、懸命にこどもたちを応援してくださいました。「譲り合って観覧していた」「狭い場所でもお互いに気を配っていた」との声が多く、あの日の校庭には温かな連帯感がありました。

その一方で、天候や視界の悪さから「傘の位置で見えづらかった」「前列での撮影に混乱があった」といった御意見もありました。また、雨天の中での実施、アナウンスへの反応やルールを受け取り方をめぐって、戸惑いや行き違いが生じた場面もあったとの御意見もありました。

学校としては、事前の案内文書で観覧ルールをより明確にし、当日の放送も柔らかく丁寧に行うことで、誰もが安心して応援できる環境を整えていきます。保護者の皆様がこどもたちを見つめるまなざしは、こどもたちにとって大きな励ましです。これからも地域と学校が力を合わせ、「共に育てる学校」を大切にしていまいります。

#### ④ 全体としての学び ― 判断と準備を磨くために

今回の運動会をめぐっては、「延期すべきだった」「実施してよかった」と、さまざまな意見がありました。どちらの立場にも、子どもたちを想う深い愛情が込められています。学校としては、結果的に雨の中での開催となったことを真摯に受け止め、今後の改善に生かします。

具体的には、雨天・猛暑・感染症など、あらゆる状況を想定した複数の運営シナリオを事前に準備し、当日の判断をより迅速かつ透明に行える体制を整えます。また、保護者への周知方法、変更や中止の際には即時に共有できる連絡方法を検討します。

さらに、子どもたちの健康管理を最優先に、気温や雨量などの条件に応じた安全基準を設け、誰が見ても納得できる運営をめざします。こうした取組の一つひとつが、次の行事の安心につながると信じています。

#### ⑤ 感謝と再出発 ― 雨が教えてくれたこと

雨の運動会は、決して理想的ではありませんでした。それでも、子どもたちの頑張りと、先生方の献身、保護者や地域の皆様の温かさがあったからこそ、あの日乗り越えることができました。

「反省」だけで終わるのではなく、「学び」として次につなげる―それが今回の経験の意義だと思っています。子どもたちは困難の中で強さを見せ、大人たちはその姿から勇気をもらいました。

私たちはこの経験を糧に、誰もが安心して挑戦できる行事づくり、そして日常の教育活動に生かしていきます。

改めて、冷たい雨の中で子どもたちを支え、励まし、見守ってくださったすべての皆様に、心より感謝申し上げます。これからも学校と家庭、地域が手を携え、子どもたちの笑顔と未来を育む温かな学校づくりを進めてまいります。

＜児童生徒用タブレット端末の更改について＞

大田区立全小学校に導入している児童生徒用タブレット端末のリース満了に伴い、端末の一斉更改が実施されます。つきましては、お子様に貸与しております児童生徒用タブレット端末等を回収し、新たな端末等を貸与いたします。

タブレットは、10月27日（月）以降学校に置いて帰るため、持ち帰りません。なお、新たな端末等については、11月17日（月）より持ち帰りを開始する予定です。

詳しくは、令和7年10月24日付の「児童生徒用タブレット端末の更改について（依頼）」を御覧ください。

＜こどものころサポート月間・

児童虐待防止推進月間＞

生活指導部

11月は『こどもの心のサポート月間』です。糀谷小学校では、11月10日（月）～14日（金）の期間にアンケートを実施します。アンケートを実施することで、児童の学校生活における悩みやいじめの早期発見などを確実に行います。その後、当事者と面談をして早期解決することで、こどもたちが安心して学校生活を送れるようにしていきます。

また、11月は、児童虐待防止推進月間です。私たち教員は、児童が家庭において虐待されている可能性がないかについて、常に注意深く観察する必要があります。そのため、児童がけがをして登校したり、児童との会話から家庭の様子で心配な点があったりする場合は、保護者の方にお話を伺うこともあります。

お互いの連絡を密にし、共に児童の心と体の安全を守るため、ご理解とご協力をお願いします。

＜保護者連絡ツール「tetoru」への移行について＞

現在、保護者連絡ツールとして「まなびポケット」を利用しているところになりますが、11月10日（月）より保護者連絡ツールを「tetoru」に変更いたします。なお、受付開始日までは、tetoru のアプリから欠席連絡を送付できないようになっていますので、学びポケットをご利用ください。受付開始日以降の欠席連絡をすでにまなびポケットで送付している場合は、お手数をおかけしますが、再度tetoru でも同様の欠席連絡を送付いただくようお願いいたします。

また、12月25日（木）の午前9時以降にまなびポケットの保護者機能が停止され、停止後はまなびポケットの利用ができなくなります。必ずtetoruの登録手続きを完了してください。

登録手続き等の詳細につきましては、令和7年10月22日付の「保護者連絡ツール『tetoru』への移行について（依頼）」を御覧ください。

11月の行事予定

1	土	東京都教育の日
2	日	
3	月	文化の日
4	火	伊豆高原移動教室（5年）開始
5	水	
6	木	伊豆高原移動教室（5年）終了
7	金	デフリンピアン講演（4年）
8	土	
9	日	
10	月	クラブ活動 福祉体験出前授業（4年）
11	火	消防署見学（3年）
12	水	避難訓練（不審者対応）
13	木	安全指導 午前授業
14	金	こめづく たいけん（5年） 町たんけん（2年）
15	土	
16	日	
17	月	クラブ活動 デフリンピック観戦（3年）
18	火	
19	水	
20	木	たてわり班活動
21	金	お話 ダンボ
22	土	
23	日	勤労感謝の日
24	月	振替休日
25	火	教材費引き落とし日
26	水	午前授業
27	木	
28	金	委員会活動
29	土	学校公開 暗唱発表（2年・4年）
30	日	

【12月の主な予定】

1日（月）振替休業日  
8日（月）～12日（金）午前授業・個人面談  
25日（木）終業式  
26日（金）冬季休業日始